美しい森林づくり推進国民運動

「ロゴマーク」と「アクション」等の制定による運動の輪づくりについて



平成20年12月11日 「美しい森林づくり全国推進会議」幹事会 説明資料 項目 概要

啓発・広報資材 (キャッチコピー、ロゴ、 ポスター、パンフレット等)

3つの環(「森づくりの環」「木づかいの環」「森の循環を支える環」)の循環の重要性と、 実際に取り組まれている具体なアクションを実施団体の顔が見える形で伝えるとともに、 運動として向かって行く方向を明示。

専用ポータルサイト (プラットホーム) 美しい森林づくり推進国民運動に係る活動を実践している団体や企業が集う場、また、新なた参加団体への積極的な呼びかけ場となるプラットホームを構築。

「美しい森林づくり全国推進会議」や「木づかい運動」、更には「チームマイナス6%」等林野関連団体以外のポータルサイトとの連携を図りながら、幅広く啓発・広報活動を実施。

新聞媒体(導入期) (宣言·自走展開) 運動を認知してもらうと同時に、実践団体を応援、後押しするために新聞媒体を活用。 単なるキャッチコピーやロゴの掲出にとどまらず、アクションや実践団体・応援団の顔が 見えるものにする。また、ラジオキャンペーンとの、ポータルサイトやチームマイナス6%等と 連携し、後に新聞社がPRしてもらえる仕掛けを展開。

ラジオ媒体(導入期) (フォレストキーパーズ サポートキャンペーン) 全国AMラジオ局(ネットワーク)と連携して番組を展開。ラジオパーソナリティが自らフォレストサポーター宣言し、実践団体をゲストに迎えて美しい森林づくりや団体の取組、リスナーにできること等を紹介。また、実践団体が新なた取り組み宣言し、その宣言とリスナーからの応援の声を全国から集め林野庁に提出などの取り組みも実施。

連

動

美しい森林づくり推進国民運動への取り組みの必要 (ロゴマークとともに伝えるメッセージ)

私たち日本の国土のほぼ7割が森林です。森林はCO2を吸収し、 豊かな水や生態系を育み、日本の環境を支えてきました。 しかし、いまでは林業に携わる人も山村に住む人も減り、手入れ が行き届かなくなり、森のチカラが弱まっています。

日本の森の本来のチカラを取り戻すためには、手を加えないことで守れる森林はそのまま保ちながら、手入れが必要な多くの森林には、人が積極的に関わり、育てなければならないのです。

また、京都議定書の目標である、日本のCO2排出量削減目標6%(2010年まで)のうち3.8%は、森林による吸収と掲げられています。いまこそ、森に手を入れ、つかい、またうえて、そだてるというサイクルを取り戻し、森林本来のチカラを発揮させることが必要です。そして、森林を再生することが森に棲む生き物や故郷の風景、伝統文化を守ることへつながるのです。日本のために、地球のために、私たちと一緒に森林をサポートしてください。



フォレスト・サポーターズへの登録を

日本の国土の約7割を占める森林。いまこの森林が弱っています。この森林を守るということは、地球温暖化の原因となっているC02を吸収するのみならず、生物の多様性を育み、豊かな土壌を作り、すべての生物が健康で安全に暮らすことが出来るようになります。そしてすうての生き物の源である水を作り、生み出すという重要な役割も持っています。

私たちの身近な森林をみんなで使って、新しい森林を育てていくことが必要になってきています。企業も、地域も、私たち仲間同士でも、みんなで手を合わせて、日本をそして地球を救う国民運動に、フォレストサポーターとして参加してください。



キャッチコピー

今の日本の環境を救えるのは、森だと思う

国内では環境問題への意識が高い割には、CO2の削減目標6%のうち3.8%を森林で吸収しなければいけないという事実があまり知られていません。 こうした状況を踏まえ、日本の環境問題における森林の重要性を力強いフレーズで発信します。

ロゴマーク



「植える 育てる 上手に使う 植える」というサイクルを 循環させることが、森林の再生につながることから、緑の部 分の「森林・樹木」に対し、樹木の幹の部分を人の手に見え るように表し、「森林への働きかけ」をイメージしています。

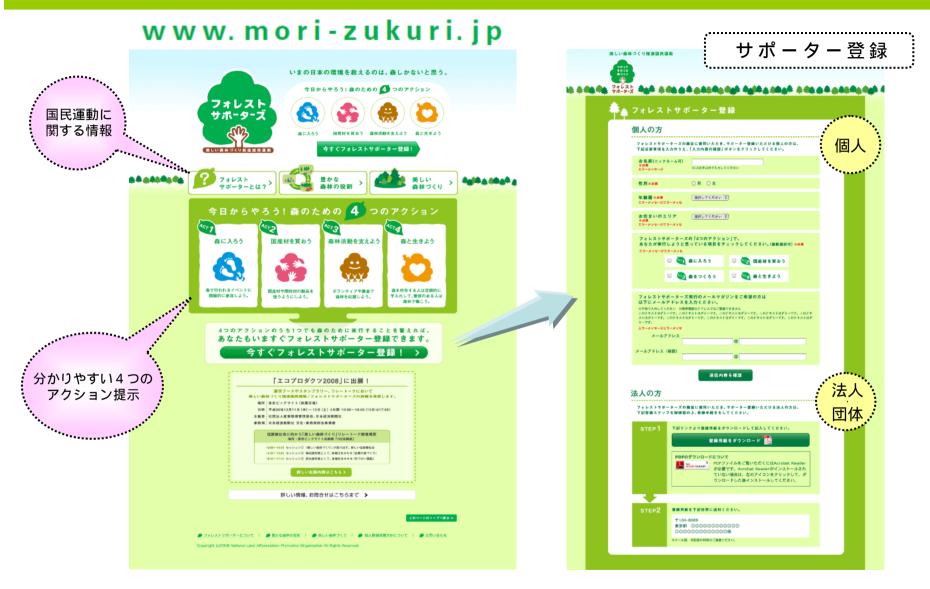
ロゴマーク + 運動メッセージ



アクション宣言を通じて活動を盛り上げる個人・企業・団体等 それぞれのサポーターの思いをロゴマークとともに発信するも のです。

4つのアクションプランについて

アクションプラン	キーアイコン(仮)	活動の呼びかけ
森とふれよう		休みの日は森を気軽に学んだり遊んだりできるイベントなどに参加してみましょう。 森林環境教育や森林セラピーをはじめとして、森に触れ、森に親しむためのさまざまなレクリエーションを 楽しむことは、森を取り巻く活動を行っている団体や地域を活性化させることにつながります。
木をつかおう	多类	毎日使う箸やお皿、文具や家具、そしてリフォームや新しい家づくりなどに、国産材や間伐材等を使ってみましょう。 木を活かす活動に携わる人々や伝統工芸などが活性化し、日本の森や林業全般をいきいきと保つことができます。
森を支えよう		森林ボランティアや企業による森づくり、募金などによって、森づくりを応援しましょう。 直接、森づくりのために活動ができない人も、緑の募金等への寄付を通して、森づくりのさまざまな活動を 間接的に支援することができます。
森と暮らそう	66	農山村を訪れで、森と共生する暮らしに触れたり、農山村に暮らす人々と交流してみましょう。 故郷に森を所有する人は、地元に相談したり、手入れするなどで、森を蘇らせましょう。 また、これからの森を育てていきたい人は、「緑の雇用」をサポートする窓口などを訪ねてみましょう。



新たな参画や国民運動の定着のため、分かりやすい4つのアクションを提示するとともに、 アクション宣言による国民運動への参加の場を提供します。



フォレストサポーターズ

みんなで止めよう温暖化 チームマイナス6%



4 つのアクション提示及び運動への参加の場づくりとともに、個人・企業・団体などサポーターの活動や成果の発信、取り組みの枠を超えた交流を促すポータルサイトを構築します。



新聞を活用した参加呼び掛けと活動のPRについて

ロゴマークの紹介とアクション宣言 による国民運動への参加呼びかけ



サポーターの活動の P R (図案は地域の状況に応じて決定)



【5段モノクロ】

サポーターの活動の P R (図案は地域の状況に応じて決定)



【全面カラー】

12月下旬 朝日新聞 (全国版) 1 ~ 2 月 朝日新聞 読売新聞 (全国版)

3月 読売新聞 (全国版)

ラジオの活用した活動の情報発信について

地元に深く密着した全国 2 5 局のパーソナリティが、「美しい森林づくり」活動に取り組む地元団体や活動家を招き、 ラジオを通じてその活動を"ふるさと視点"で発信します。



AM21のネットワーク加入以外の放送局についても参加呼び掛けと企画の共同展開を調整します。

【A2ポスター】



【パンフレット】



「森づくりの環」「木づかいの環」「森の循環を支える環」の3つの環の循環の重要性と4つのアクションを、実施団体の顔が見える形で伝えるとともに、運動として向かって行く方向を明示するためポスターやパンフレットなどの啓発資材を作成します。

ポスターについては、活動団体等の取り組みにマッチするよう図案 を複数準備します。

今年度のスケジュールについて

